

びばい社協の ぽぷら

第18号
VOL.39

「第28回美唄市社会福祉大会」

地域福祉に功績のあった方々が顕彰される

10月17日(土) 総合福祉センターぽぷらで本会主催の第二期地域福祉実践計画策定を記念した「第28回美唄市社会福祉大会」を開催しました。

市民・社会福祉関係者約100名が参加し、永年の地域福祉推進に功績があった4個人・5団体へ感謝状を授与(受賞者名簿は2ページ掲載)いたしました。

その後、本会地域福祉課長の「第二期地域福祉実践計画の概要説明」と札幌医大名誉教授で北海道社会福祉協議会長の三宅浩次氏による「いつまでも健康であるために」と題した記念講演を行いました。



「じぶんの町を良くするしくみ」

赤い羽根募金はじまる!



10月1日から5日間、市内各所で街頭募金活動が行われました。今年は15団体、延べ178名のボランティアの方々が参加してくださり、市民の皆さまから、総額298,358円の募金が寄せられました。

募金いただいた市民の皆さん、活動に参加してくださった皆さん、ご協力ありがとうございました。

平成21年度募金速報

目標 400万円

10月27日現在の募金額

1,273,060円

(前年比+325,942円)

募金にご協力お願いします

▲ 赤い羽根街頭募金運動(10/1~10/5)の様子
美唄高校ボランティア局のみなさんと「マミーちゃん」

受賞おめでとうございます

第28回美唄市社会福祉大会で受賞された方々は次のとおりです。

個人

高橋 守様
十河 光様 十河浩一様
熊野宗男様
鈴木良輝様

団体

北海道美唄高校ボランティア局様
美唄ライオンズクラブ様
美唄市民生・児童委員協議会連合会様
美唄市スキーパトロール赤十字奉仕団様
美助っ人倶楽部様

老年の地域福祉活動及びご貢献に心から感謝とお礼を申し上げます。



▲ 表彰の様子
高橋会長から感謝状を受け取る十河 光さん

地域福祉委員って どんな人？

社協では平成 17 年度から地域や生活上の課題の発見者として地域福祉委員を市民にお願いしていますが、まだまだ「それは何？」といった声が多くきかれます。そこで地域福祉委員についての疑問にお答えします。



問 『地域福祉委員』の制度はどうしてできたの？

答 市民のみなさんの声でできました。

平成 14 年度に行った「地域福祉懇談会」や「市民意識調査」などから、身近な地域の困りごとをどこに相談したらよいかかわからないといった課題が浮き彫りとなり、地域の課題を早期に発見し解決の糸口に結びつける担い手となる「地域福祉委員」の制度がつけられました。

問 『地域福祉委員』ってどんなことするの？

答 町内会・民生委員・社協とのパイプ役となっていただきます。

主に町内会で困ったことを見たり、聞いたりした時に町内会長や民生委員、社協や市へ相談の橋渡しをしたり、一人暮らしのお年より宅の見守りや訪問活動などをします。

問 今は『地域福祉委員』って何人いるの？

答 全町内会設置を目指しています。

約 270 ある町内会・農事組合や連合町内会等のうち先月末で 39 町内会に設置され 41 人の方にお願いしています。

問 どんな人が『地域福祉委員』になれるの？

答 資格などは一切ありません

特に資格や条件はありません。福祉活動やボランティアに関心がある方になっていただけるようお願いしています。

問 民生委員と『地域福祉委員』は違うの？

答 地域福祉委員は社協会長と町内会長が委嘱します。

民生委員は厚生労働大臣から委嘱を受けて育児、青少年育成、高齢者の見守りなどの幅広い活動をしています。地域福祉委員は民生委員はじめ町内会等役員や社協地区担当者など一緒に地域の課題などを発見し、できる範囲の支援活動をします。

まだ、未設置の町内会等が多くあります。地域福祉委員に関心、興味のある方は町内会役員や社協にご連絡ください。(総務企画課 米澤 ☎ 62-0770)

＊地域福祉委員研修会を開催します。

関心のある市民の方も是非ご参加ください。

●と き 11月7日(土) 13:30～15:30

●ところ 総合福祉センターぽぷら

●講師 稚内市社会福祉協議会

事務局長 糀谷 義明氏

第二期「地域福祉実践計画書」を お送りしました！

本会では、本年度から5年間を推進期間とする第二期地域福祉実践計画を策定いたしました。

各町内会・連合町内会等に計画書と概要版をお送りしましたので、ご高覧いただき、本会の地域福祉活動へのご理解とご協力、連携のための参考にして頂ければ幸いと存じます。

(計画に関するお問合せは地域福祉課まで)

体験しました！

夏休み親子ふくしスクール

夏休み、小学生とその保護者を対象に、福祉の体験を通して住みよいまちづくりについて考える「夏休み親子ふくしスクール」を、8月3～5日の3日間、開催しました。参加者は6名でした。

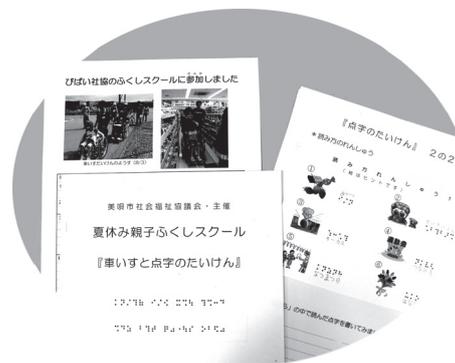


▲ 実際に車いすで外出してみました

1日目は、道立リハビリテーションセンターにて、理学療法士の三島昌志さんより車いすの動かし方、車いす生活についてお話しをうかがったあと、実際に近所のコンビニまで車いすに乗ってみました。徒歩では気づかないちょっとした傾斜、段差が車いすでは大変な力が必要になることや、車いすに座っての買い物では、陳列棚の高さ、通路の幅など「バリアフリー」について考えるきっかけとなりました。2日目は市内の点訳ボランティア団体「ペッカーズクラブ」の皆さんから、点字について学び、点字の名刺作りや、点字パソコンの体験をしました。

最終日のまとめでは、まちづくりについて話し合い、2日間の体験をした参加者からは、「目の見えない人が点字だけで理解するのはすごい」、「障がいのある人も健康な人と同じ、困っているときだけ手助けしたい」「相手に関心をもつことがまちづくりにつながる」といった感想が寄せられました。暑い中、参加された皆さん、お疲れさまでした！

夏休みの自由
研究が完成
しました！ ▶



ボランティアセンター だより Vol.3.



「ボランティアってなんだろう？」

道に迷っている人がいたら声をかけたり、重い荷物を持った方を手伝ったりしたことはありませんか？ボランティアとは特別な行為ではありません。困っている人に少しでも気持ちをかけ、手伝うこと、そんな気持ちが住みよい美唄をつくります。

ボランティアの性格は、大きく分けて4つあります。

①「自発性・自主性」

ボランティアの語源は、ラテン語のボルンタス (voluntas) = 自由意志 = に由来しています。

ボランティア活動の本質は「自発性・自主性」にあると言われています。ボランティアのキッカケは誰が与えてくれるものでもありません。「自分にできること」「自分がしたいこと」を探ることがボランティア活動の始まりです。

②「無償性」

ボランティアは、その代償として金品などの見返りを求めるものではありません。「ありがとう」の感謝の言葉や活動を通じて友達がたくさんできることが自分の心を豊かにしてくれます。(実費程度のボランティアも場合によって存在します)

③「社会性」「公益性」

ボランティア活動の性格のもう一つの柱が「社会性」です。ボランティア活動に熱中するあまり、仕事や勉強など本来の務めを怠ることは感心できません。ひとりの人間としての社会的な責任はボランティアでなくてもみな同じです。周囲の人たちの理解や協力を得られるよう、けじめや常識のある活動をしましょう。

④「先駆性」

ボランティア活動は、市民の自由意志による取り組みであり、法律や制度等に基づいて行われるものではありません。市民自らが問題を発見し、先駆けとなって新たな活動を作り上げていくことも期待されています。

「ボランティアの魅力」

いずれにしても、ボランティア活動の醍醐味の一つは、体験の中で学び、問題を発見し、新たな実践へつなげていく、その過程と繰り返しの中で様々な喜びや感動に出会えることだと思います。

私たちは普段から特別に意識することなくごくごく自然に、困っている人に対し何かしたいと思っています。ボランティアセンターでは、そんな“ボランティアの芽”を育てるお手伝いをしています!!

あなたもはじめてみませんか？



社協 からのお知らせ

内容に関する詳細につきましては、本会地域福祉課
(☎62-0770) までお気軽にお問合せ下さい



地域福祉セミナー

必要なのは夢見るチカラ

北海道赤平市に生まれた民間宇宙開発企業カムイスペースワークスの植松努さんの講演です。

- ◆ 日 時 12月9日(水) 18時~19時30分
- ◆ 場 所 総合福祉センターぽぷら
- ◆ 内 容 「新しい時代にむけての挑戦」
- ◆ 講 師 株式会社カムイスペースワークス
代表取締役 植松 努 氏
- ◆ 対 象 どなたでも参加できます
参加無料



赤い羽根ふわっとチャリティパーティ

同時開催：ふれあいバザー

ダンスに音楽、ビンゴなど面白いこと満載！しかも美味しい料理と飲物付です！毎年大好評のパーティです！

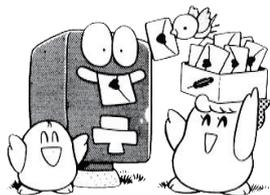
- ◆ 日 時 11月27日(金) 18時~20時30分
- ◆ 場 所 総合福祉センターぽぷら
- ◆ 内 容 バンド演奏・ビンゴ大会・アトラクション
市内施設・福祉団体の展示即売など
立食(飲み放題)
- ◆ チケット 2,000円
(内500円が共同募金へ寄付されます)

あなたの 善意 大切にします

平成21年1月16日~平成21年10月15日

東高17期生(代表 橋本 友子)様
 佐藤 道子 様
 高橋 一裕 様
 美唄母子寡婦福祉会 様
 美唄市老人クラブ連合会女性部 様
 市民ふれあいまつり実行委員会 様
 美唄法人会青年部会コスモス会 会長 沼倉和子 様
 コスモス会 様
 谷口トシ 様
 美唄更生保護女性会 様
 朝倉 清司 様
 社協・共同募金会チャリティパークゴルフ大会参加者 様
 山田 八重子 様
 北海道美唄聖華高等学校自治会・生徒会 様
 林 紘司 様

10,000円 社会福祉事業に対する寄付金として
 450円 配食ボランティアの交付金を社会福祉事業に対する寄付金として
 1,000円 社会福祉事業に対する寄付金として
 10,000円 社会福祉事業に対する寄付金として
 20,000円 市民ふれあいまつりのバザー益金を社会福祉事業に対する寄付金として
 118,207円 市民ふれあいまつりの縁日の益金を社会福祉事業に対する寄付金として
 20,000円 社会福祉事業に役立ててほしい
 5,000円 社会福祉事業に対する寄付金として
 100,000円 社会福祉事業に役立ててほしい
 20,000円 市民ふれあいまつりのバザー益金を社会福祉事業に対する寄付金として
 写真 社会福祉事業に役立ててほしい
 36,552円 社会福祉事業に対する寄付金として
 50,000円 社会福祉事業に対する寄付金として
 2,938円 社会福祉事業に対する寄付金として
 600,000円 結婚60年を記念して社会福祉事業に役立ててほしい



あなたより募集

身近な地域や学校などの話題や皆様からの「声」をぽぷらに掲載いたします。下記本会事務局へお送りください。

ぽぷら 39号 2009(平成21)年11月号

発行 社会福祉法人美唄市社会福祉協議会
 〒072-0026 北海道美唄市西3条南3丁目6-2
 美唄市総合福祉センターぽぷら内
 TEL 0126-62-0770 FAX 0126-62-6996
 ホームページ <http://www.bibai.com/shakyo/>
 Eメール shakyo@mail.bibai.com

「ぽぷら」は、
 赤い羽根共同募金の
 配分を受けて
 発行して
 おります。

